

あじさいワーク 二年 ①

(二年 くみ)

1 ひらがなをかたかなになおして書きましょう。

① さっかあ	
② しゃわあ	
③ しんばる	
④ まらかす	

2 ひらがなをかたかな字になおして書きましょう。

① きゆう 食当しょくどう ばん になる。

② 弓ゆみ や で、かりをする。

③ ひなひなさんは、 せん 切だ。せつ

3 文の中のひつようなどところに点(・)丸(○) かぎ(「」)をつけましょう。

と	は		
き		ぼ	ゆ
き	だ	く	う
ま	れ	を	く
し	な	よ	ん
た	の	ん	は
。		だ	、
		の	

4 文を読んで答えましょう。

水ぞくかんには、いろいろな生きものがいて、ぼくはびっくりしました。青色のゼリーのようなくらげ。ぬいぐるみみたいにかわいいラッコ。チョコレートみたいな岩からつぎつぎと水にとびこむペンギンたち。

つぎのものは、なににたとえられていますか。

① くらげ	
② ラッコ	
③ 岩	

5 えを見て、「ーと」をつかった文を書きましょう。

① ↓

② ↓

あじさいワーク 二年②

(二年 くみ)

1 □に入ることばを書きましょう。

- だれが どうした
- うさぎさんが言いました。
- だれは どうした
- かめさんは、まどからのぞきました。
- 何が どうする
- お手紙が来る。

① 「だれが(は)」「何が(は)」に
当たることばを

② 「どうした(どうする)」に
当たることばを
といます。

2 ぶんしょうを読んでこたえましょう。

わたしは、一年生のとき、友だちとボールをとり合って、よくけんかをしていました。でも、いまではボールをなかくつかえるようになりました。なぜかというと、こうたいでつかったり、じゃんけんできめたりしているからです。

① ボールをなかく使えるようになった
わけをかきましょう。

(わけ)

3 ()に入る言葉に○をつけましょう。

まず、画用紙を半分におって、おったほうから切りこみを二本入れます。
()、切ったところをおります。
はんたいがわも同じようにおります。

ア・また イ・つぎに ウ・だから

4 ゆうすけさんが書いたうんどう会の作文を読んで、こたえましょう。

ア()	五月三十日に、楽しみにしていたうんどう会がありました。
イ()	ぼくが、がんばったのは、たんきより走でした。スタートの合図を聞いて、おちゅうで走りました。すると、一番でゴールできました。そのあと、お友だちに
ウ()	ゆうすけくん、はやかかったね。と言われて、うれしかったです。

① ゆうすけさんは、作文をア・イ・ウの三つにわけて考えました。ア・イ・ウに入ることばを書きましょう。

- ア ()
- イ ()
- ウ ()

② イの文の中に、かぎ(「」)を書き入れましょう。

① ⑤ □に入ることばを書きましょう。
おはなしの中に出てくる人を

といます。

② おはなしの中に出てくる人がしたことやできごとを中心にお話をみじかくまとめたものを

といます。